

□議員名：中島好人

1 マイナ保険証について

論点	共同通信が全国の市町村長にアンケートした結果、84.2%の回答だった。その中にマイナの事務負担について「事務負担が重い」と答えたのが90%あったが、本市はどう答えたのか。
回答	マイナカードの交付、また、マイナポイントの申請支援の事務負担について本市も「重い」と回答した。

論点	保険証を廃止してマイナ保険証の一本化は、無保険者をつくりだすことになる。国に対して健康保険証廃止の撤回を求めるべきである。
回答	デジタル社会における質の高い持続可能な医療を実現するための施策と進められていることから、市として撤回を求めることは考えていない。

2 医療費の無償化について

論点	山口県内19自治体の中で半数以上の12自治体が高校卒業まで無料を実施している。本市も実施すべきである。
回答	本市では、この8月に中学生所得制限なしで無料化を実施し、また、小中学生の入学祝い金制度を設けている。全体的な予算配分も考える必要もある。

論点	医療に関わる問題は、子供の成長、早期発見・早期治療に関わる問題で、ここを重視して優先して行うべきである。
回答	本市において、いかに子育てしやすい環境整備をするかという視点で、毎年担当課と協議している、その中のテーマの対象となっており、引き続き議論を進めていく。

3 災害対策について

論点	有帆緑地管理棟の位置づけについて、現在の管理棟の中はとても人が居ることができる状況ではない。いつでも人が避難できる状態にすべきである。
----	---

回答	市内15か所の指定緊急避難場所の一つとなっているので、避難の際に扱えるような管理については、管理を所管とする担当課と連携しながらやっていく。
----	--